

市民が真ん中懇談会 in 今治里山スタジアム グループワーク

日時

3月12日(日) 午後2時40分～午後3時50分

1班

参加者人数

市民4名、FC職員1名、職員1名 計6名

大きく5つの分野において提案があった。

1. インフラ整備に関するもの
2. 健康に関する日常的なもの
3. 子育てに関するもの
4. 食に関するもの(マルシェやキッチンカーとの繋がり)
5. イベントに関するもの

検討による結果、3つのテーマとして案をまとめた。

①ピッチで日光浴

自然に触れ合う

→ピッチを使って日光浴イベント

- ・癒しと健康の体験

ピッチは天然芝ということもあり、傷める可能性も大きい。

ごろ寝する際は「今治タオル」を活用することにより、天然芝への影響も最小となる。

その他、自然に触れ癒しを得られるものとして、池を愛でる会など

②夜遊び

若者にとって今治には夜遊ぶところがほぼないのではないか？

実際に仕事が終わったら家に帰るだけ

→夜景なども活用した夜遊びイベントの開催

- ・イケてる感を醸し出すことにより、若い世代へのアプローチ、集客に繋がる
- キャンプファイヤーや焚火イベント、夜市の開催、冬おんまくなど

③里山アンバサダー制度

班内のネタ出しにおいても一過性のイベントものの提案も多く出た。

イベントをやるにも誰が主体となってやるか？

→各分野における専門家

アンバサダー制度を創設し、認証された方がイベントを開催できる権利を有する

- ・小さくても良いので専門家によるイベントを行っていき、それを繋いでいくことが連続性を生む
- 例として rooftop BAR など

市民が真ん中懇談会 in 今治里山スタジアム グループワーク

日時	3月12日(日) 午後2時40分～午後3時50分
2班	
参加者人数	市民4名、FC職員0名、市職員2名 計6名

① ロケセット誘致

- ・今治里山スタジアムのロケーションを活かし、映像制作にあたってのロケ地として誘致。
(今治のまちなみやしまなみを一望でき、自然豊かな里山として成長する唯一無二のロケーション)
- ・今治の知名度の向上にも寄与し、地域の人々の今治愛の醸成にも繋がる
- ・サッカーに興味がない層や、若年者層の誘客にも繋げたい。

② 入学式・卒業式などの式典会場

- ・入学式、卒業式、成人式、結婚式(里山ウエディング)など、FC今治とコラボした式典会場としての利用 → 一生の思い出を今治里山スタジアムで
- ・今治らしさを感じ、地域へのアイデンティティを醸成することにも繋げ、まちへの愛着心の形成を図る

③ キャンプアクティビティのPRや体験の場

- ・里山を体験できる火起こし体験など、デイキャンプなどのキャンプエリアとしての利用
 - ・テーブル、イスづくり、東屋づくりなどのクラフト体験なども企画
 - ・イオンモール今治新都市連携し、キャンプ用品のPR・販売促進につながる
- 今治の新たな週末の過ごし方(楽しみ方)の提案
- ※その他、高齢者の方を対象としたスタジアムウォーキング(見学ツアー込み)による健康増進イベントや、園芸講座や花の植樹イベントなども提案

④ 夜も楽しめるスポーツバー

- ・カフェ施設の設備を利用した、夜も楽しめるスポーツバー
 - ・その他に、スタジアムを利用したパブリックビューイングなども
- 外国人や他県の人との交流の場としても期待

⑤ いやし・非日常を感じる場の提供

- ・ピッチの芝生の気持ちよさを感じながら、いやし・非日常を感じる場として利用
- ・ピッチにヨガポールなどを配置し、昼寝などゆったりと過ごしてもらえる空間(宿泊なども)
- ・アフターゲームオープンフィールド(試合後にピッチを開放)を活用すれば、芝生へのダメージは考慮しなくても、利用できる。(試合後には芝生メンテナンスするため)
- ・その他に、本の読み聞かせ会やピッチでのヨガなども

⑥ タオル地スクリーン映画上映会

- ・ピッチの上での青空映画上映会を提案
- ・大型スクリーンはスタジアムにはないため、今治ならではのタオル生地を利用したスクリーンによる映画上映会を実施
- ・その他、しまなみまで見渡せる立地・景観を利用した「おんまく花火」有料鑑賞など

⑦ その他のアイデア

- ・サッカーにまつまる図書館+FC今治の歴史記念館の設置
- ・動物のふれあい体験やホテルなどの生きもの鑑賞会、スポンサー企業の社会見学など

市民が真ん中懇談会 in 今治里山スタジアム グループワーク

日時	3月12日(日) 午後2時40分～午後3時50分
3班	
参加者人数	市民 5名、FC職員 1名、市職員 1名 計 7名

①里山スタジアムサスペンス劇場づくり

サスペンス劇場は、昔テレビで人気があったはずだが今はなくなってしまった。おもしろいサスペンス劇場が作れば興味がある人も多い。

・誰がストーリーを作るか

有名な脚本家もありだが、市民が作ったり、要素を入れてAIでつくることができる。ごちゃ混ぜ感がおもしろくなるかも。

・はじめはコストも、にぎわいも小さいところから始める。例えば、スタジアムを暗くして（これだけで結構怖い）サスペンス劇場朗読会をし、これで反応を見る。

・女性受けをねらうにはラブストーリー要素も入れる。

・小さな朗読会であっても、キッチンカーを出して飲食もできるようにする。

・規模を段々大きくしていき、実際の映像化を目指す。ドラマを撮影する段階までいくと、コストがかかってくるが、有名な俳優は最小限とし、とにかく大勢の市民が出演。輪を大きくしにぎわいを創出する。コストがかかるとしても上手く映像化できれば、宣伝として使える。スタートの映像は素人による撮影（学園祭レベル）でも良い。

・今日はいろいろな意見の案が出て、実現は難しいことも多いが、ドラマのストーリーの中の場面としてなら、無限に盛り込みことができ、いわば実現することができるので、やってみると楽しいのではないか。

×映像化の規模が大きくなるとコストがかかる。

◎聖地めぐりにつながる。

②お酒でのにぎわい

楽しくお酒を飲める場所があれば、にぎわいが生まれる場所となる。またお酒と海賊は里山スタジアムのコンセプトにあっている。

酒づくりをからめると、そのほかの飲食、体験メニューなど広がっていくことができる。

・ワインやビールなどバルで、サッカーをしている世界のお酒が飲める場所づくり

・インバウンド効果もある

・海賊のお酒 オリジナルお酒づくり → 酒造会社とのコラボになる → 過程を見せる体験メニューづくり

・お酒を楽しめる場は、飲食面でも広がりが期待できる。例えば屋台の集積地

×里山スタジアムからの帰りの交通アクセスに課題がある。

③子ども向けイベントや施設によるにぎわい

子どもが遊びに行きたくなる場所には、子ども世代、親世代、祖父母世代といろいろな世代が集まり、サッカーに興味が無い人も集まってくることができる。

・イベントの例 子どもキッチン、子ども風呂

・施設の例 子どもが雨でも遊べる施設

×保育士さんの確保 ×施設建設となるとコストがかかる

④そのほかのアイデア

サウナ、サバイバルキャンプ、お散歩やランニングコース（世界一の朝活エリア）、養殖、みそづくり、くだもの狩り、のま馬活用、ケチャ、弾き語り、ピッチを使ったプロジェクションマッピング、なるべくDIYで創る、などまとめきれないほどの多くの意見が出た。